

带状疱疹ワクチンの予防接種のお知らせ

回覧

定期接種

① 年度末年齢が

65・70・75・80・85・90・95・100 歳の方

② 接種日に 101 歳以上の方

③ 接種日に 60～64 歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

任意接種

- ・ 接種日に 50 歳以上で定期接種の対象者以外の方

① ② の方には個別通知を郵送しています

接種期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

助成額 定期・任意同額です。ただし生涯に1回のみ。

※生活保護受給者は全額補助（受給者証の写しが必要です）

ワクチンの種類	水痘ワクチン (生ワクチン)	シングリックス (組換えワクチン)
接種費用	8,000 円×1 回	22,000 円×2 回
自己負担額	4,000 円×1 回	11,000 円×2 回
助成額	4,000 円×1 回	11,000 円×2 回

注意

シングリックスは2か月（遅くても6か月）の間隔をあけて2回接種します。

1 回目の接種はなるべく9月までに！

委託医療機関

設楽町	伊藤内科	62-0558	新城市	静巖堂医院	0536-35-0022
	月新堂医院	62-0026		宮本医院	0536-35-0811
	つぐ診療所	83-3001			

※上記以外の医療機関で受ける時はしたら保健福祉センターにお電話を！！

① 愛知県内の広域予防接種協力医療機関：広域予防接種連絡票と予診票を交付します。

② ①以外と愛知県外の医療機関：予診票と請求書をお渡しします。

医療機関に接種費用を全額支払ったあと、1／2の金額を保健センターに請求していただきます。

その他

- ・過去に带状疱疹ワクチンを接種された方は定期接種の対象ではありませんので、重複して接種しないようお願いします。

【問い合わせ先 したら保健福祉センター予防接種担当 電話（0536）62-0901】

裏面もご覧ください

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。



带状疱疹ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン（水痘ワクチン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種方法	皮下に接種	筋肉内に注射
回数と間隔	1回	2回（2か月以上の間隔をあける）
接種条件	病気や治療によって、免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

◎带状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン（水痘ワクチン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

◎他のワクチンとの同時接種について

- 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。



◎予防接種健康被害救済制度があります（定期と任意では補償内容に違いがあります。）

予防接種は感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり、障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

詳しくは設楽町ホームページをご覧ください。